



# 横浜みどりアップ計画 地域緑のまちづくり事業

## R E P O R T

※助成金を活用していない活動も含まれます

綱島西地区 港北区綱島西1～3丁目、(綱島公園)

## フローラルつなしま

◎取組期間 3 年間 ◎協定締結期間 令和 2 ～4 年度 ◎助成金額合計 9,794 千円



### 団体・地区の概要

綱島西地区は綱島公園や鶴見川等の  
岸边といった豊かな自然がある一方で、  
ターミナルである駅前、賑わい・活気があるものの、道幅は狭く、更なる緑化には工夫が必要でした。従来、花と緑の推進リーダーを中心に緑化や花壇の世話を実践してきましたが、担い手の高齢化やボランティアの減少により、緑の推進団体だけでは維持活動を続けていくことが大きな課題となっていました。そこで、地域緑化計画として「つつなプロジェクト」を立ち上げ、様々な団体と協力し、街全体での緑化活動に取り組みました。

「フローラルつなしま」は綱島地区のよ  
こはま緑の推進団体を中心に、町内会や  
商店会、公園愛護会、鶴見川流域ネット  
ワーキング所属の方々が参画しましたが、  
そのほかにも消防出張所や地域の皆さま  
など多くの方々にご協力いただきました。

### 取組(計画)の概要

綱島公園から市街地と鶴見川河畔を花と  
緑の資源でつなぎ、花と緑の育成・維持活  
動を通じて人をつなぎ、新しい活動の担い  
手の発掘と仕組み作りに取り組みました。

拠点となる地区センターの花壇を整備  
した上で、ナーセリーで育苗活動をし

た。また、パデュ通り、綱島公園への通り、  
ピーチ花壇を経て地区センターに続く通  
り沿いにある民有地に働きかけをし、プラ  
ンター等を設置し、ナーセリーで育苗した  
苗を植えました。また、綱島公園の桜の根  
周りの整備をしたほか、鶴見川流域にハマ  
カンゾウなどを増やすことで、生物多様性  
の保全を進めるとともに、野草の里親制度  
等の花育、講座の開催をしました。活動中  
は、地域全体に活動の理解を得る目的の  
情報誌「つつな通信」を発行していま  
す。



### 横浜みどりアップ計画とは

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。

詳細は... [横浜みどりアップ計画](#)

### 地域緑のまちづくり事業とは

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、市民との協働により緑化を進めるものです。

詳細は... [地域緑のまちづくり事業](#)



地区の範囲図及び緑化実施場所



子ども花育講座：たねダンゴ作り



啓発講座初めてのキッチンガーデン



パデュ通り・モール商店街の植栽活動



啓発講座樹木の選定

## 民有地緑化

広い地域を対象にしたプランター設置などで緑化を推進!

パデュ通り、綱島公園への通り、ピーチ花壇を経て地区センターに続く通り沿いの民有地や、個人住宅に働きかけてプランターやハンギングバスケット等を設置しました。また、古くから使っているプランターを洗浄したり、人手が足りない箇所や高い位置にある水まきが難しいプランターは、草花から多肉植物に変更し、維持管理を簡単にする工夫をしました。

消防出張所の庭で緑化活動を行い、顔の見えるまちづくり

綱島消防出張所では、災害発生時に顔が見える関係で救助に当たりたい、という意向に沿って、地元の人との交流が生まれる、防災に役立つ庭造りを行いました。防火樹の利用や雨水タンクの設置、敷地の保水性向上といった工夫や、防災イベントの開催等により、港北オープンガーデンでは人気会場となり、地元メディアにも取り上げられました。

## 3か年の取組みを振り返って

地域一丸となりプロジェクトに取り組んだため、緑化活動におけるさまざまな課題解決につながりました。また、取り組む中で、「ただの緑化活動ではなく、緑を通じたまちづくりなんだ」という意識の変化が大きくあり、活動内容を工夫し、地域の繋がりを大事にすることができました。今回の取り組みで培ったノウハウをモデルケースとして、周辺地域に広めて行きたいと考えており、今後も活動を続けながら、他地域に向けたセミナーなども開催予定です。

## 地域緑化活動

街や川辺を彩る「ハマカンゾウ」の“里親制度”の実施!

鶴見川流域の河川敷のビオトープ維持や生物多様性保全活動を広げていくために、ハマカンゾウ合計150株を個人(1件あたり各3株)や企業・団体などに配布しました。それぞれの参加者がプランターか庭にハマカンゾウの苗を“里親”として育て、“増えた分”の株を戻すことで、地域のハマカンゾウを増やす活動を行っています。

情報誌の発行とタウンマップの作成

活動中は、植栽の近くの商店街や住民の協力を得ると同時に、地域全体に活動の理解を得る目的の情報誌「つなつな通信」を発行しました。また、プロジェクトの最後には、緑化活動の成果を記載したタウンマップを作成し、サインボードとしてエリア内の主要な緑化スポット3カ所に設置しています。ボランティアによる手書きのイラストマップと写真で構成されており、同時に三ツ折りのリーフレットも作成しています。